



ひまわりノ畑



教育目標 思索・和敬・剛健
R7学校スローガン 笑顔とあいさつそしてありがとう

<http://www.kivose.ed.jp/kivosedaijibutuuzeikkou/index.htm>

春風にのって、ふわりと飛び立つ

朝夕はまだ肌寒いのですが、穏やかな屋間にマフラーはもういらなくなりました。足元を見ると、ホトケノザやヒメオドリコソウなど早春の野草たちが咲きほこり、タンポポもちらほらと花を開いています。すでに足元には春が到来しているようです。

いよいよ卒業式は明後日となりましたが、3年生の皆さんは、現在どのような心境でしょうか？3年間で振り返り、懐かしさに感傷的な気持ちになっていますか？それとも、新しいステージへの期待で胸を膨らませているのでしょうか、あるいはその気持ちが、行ったり来たり、混ざり合ったりという人もいるかもしれません。



9年間の義務教育を終え、次のステージへ進むにあたり、初めて「何処で、何を目指し、どのように、何を学ぶのか、自分はどこへ向かうのか」という選択をおこなった人が、多かったのではないのでしょうか。

皆さん一人ひとりの未来は、人生の中で現れる、幾たびもの「選択」によって作られていきます。4月から始まる新たな生活もその一つです。まだ見ぬ新しい環境に飛び込むとき、誰もが不安と期待を感じるものです。その不安と期待の揺れ動きこそが、皆さんの成長の原動力であり、期待へと大きく揺らし、一步を踏み出してください。皆さん一人ひとりの未来は広大で、可能性は無限大です。自分の可能性に蓋をせず、タンポポの綿毛が春風で軽やかに舞うように、新しい風にのって、自分が選んだ場所へ、ふわりと飛び立って下さい。

3月19日に卒業を迎える3年生の皆さんに、幸多き未来が待っていることを祈ります。



♪卒業歌「友～旅立ちの時～」練習

編曲者 相澤氏 来校！ 3/12(木)

先週の木曜日の6時間目に、卒業歌の「友～旅立ちの時～」の作成に編曲者として携われた相澤直人氏に、合唱指導をして頂きました。



卒業歌に生徒たちが選曲したこの曲は、2013年のNHK全国学校音楽コンクールの課題曲ですが、奇遇にも本校教員が、この曲を合唱曲としての編曲を担当された相澤氏と縁があり、合唱指導をお願いしたところ、快くお引き受け下さり、急遽来校して下さることになり、実現することが出来ました。ありがとうございます。

指揮者・作曲者そして音楽大学で教鞭をとられる相澤氏より、楽譜に書かれた記号だけで、音程や強弱などを歌うのではなく、作詞作曲者が、どんなメッセージや思いを楽譜にしたのかをイメージして、歌に表情をつけることや発声技術などのポイントを教授して頂きました。

高校によっては、式典での合唱や合唱コンクールはなく、音楽も選択科目であり、もしかしたら卒業式が人生最後の合唱となる生徒もいるかもしれません。そのような中、自分たちが卒業歌として選んだ曲の作成に関わった方に、直接ご指導をいただけたことは、人生の巡り合わせとして、とても稀有なことで、この学年の生徒の皆さんが持つ不思議な気運を感じます。素敵な卒業式になる予感がします。

◆卒業式での指揮者・伴奏者の紹介

《校歌斉唱》

指揮：3Cの生徒さん

伴奏：3Aの生徒さん

《卒業生合唱》

友～旅立ちの時～

指揮：3Aの生徒さん

伴奏：3Cの生徒さん

栄光の架橋

指揮：3Bの生徒さん

伴奏：3Aの生徒さん

《全員合唱》

旅立ちの日に

指揮：3Bの生徒さん

伴奏：3Bの生徒さん

※家庭配布版では、氏名をご紹介しています。

【3.11】「黙祷」で祈りを届けました。 避難訓練

3月11日に、本年度最後の避難訓練を行いました。15年前のこの日は、東日本大震災が発生した日です。日本は地震が多く、2年前の能登半島地震をはじめ、幾たびも大きな被害が起きています。その中で大震災と言われるものが3つあります。1923年の関東大震災の犠牲者、行方不明者は10万人以上で、その9割が火災によるもの、1995年の阪神淡路大震災では6千人以上の方が犠牲になり、その9割が建物の倒壊等によるもの、そして2011年の東日本大震災では2万人以上の方が犠牲になり、その9割が津波によるものでした。今だ2500名以上が行方不明のままです。



それぞれの地震は発生のメカニズムも、被害の主な要因も異なり、私たちに多くの教訓を与えてくれました。地震そのものは防ぐことは出来ませんが、被害を少なくする方法はあります。避難訓練もその一つです。

本校では津波に対する避難訓練はしていませんが、将来、海の近くに住んだり、旅行などで訪れることもあると思います。基本はとにかく高い場所へ一刻も早く避難することです。その際、生徒の皆さんは、まず逃げることを考えて下さい。避難時に助けが必要な方は大人に任せて、自分の命を守ることを最優先にして下さい。そして自分の安全を確保したうえで、次に周りへの支援をして下さい。具体的には、避難先でのお手伝いです。

本日の避難訓練の最後に、全校で黙祷をして、犠牲になった方々のご冥福を祈りました。

3年生 救命救急講習会 3/16(月)

3年生最後の特別授業は、東京防災救急協会と消防署の方に来校頂き、普通救命講習会でした。ダミー人形を使って、心臓マッサージや人工呼吸、AEDの使用方法等の緊急時対応について学びました。街の中で救命救急の場面に出会うのは稀だと思いますが、そのような場面に立ち会った際、率先して対応に当たるのは、確かに無理かもしれませんが、講習で得た知識があれば、手伝いはできます。また、家族に救命処置が必要な状況が起きた場合は、勇気を持って救命活動にあたれます。



日本国内の設置台数は60万台以上で、令和6年度に一般市民がAEDで救命活動をした回数はおおよそ15,800件、そのうちAEDショックが稼働したのはおおよそ2,300件だそうです。この講習会は、青少年問題協議会第五地区委員会の主催により実施できました。ありがとうございます。



●弁護士さんとパネルディスカッション テーマは「人権」 3年生総合

3年生最後の総合的な学習のテーマは、「人権」でした。各自でレポート作成を行ってクラス発表を行い、3月6日の5・6校時に東京弁護士会より、弁護士の金丸哲大氏を講師にお招きし、前半は「ハンセン病問題から人権を学ぶ」というタイトルの講演を頂き、後半は代表生徒とのパネルディスカッション形式で、幅広く、「人権問題の根本的原因は何だろうか?」「平等とは何か?」「人権問題を克服するための行動とは?」などの討論が行われ、自分の正義が揺らぐような話もあり、中学生としてはハイレベルな内容になりました。自分の考えを言葉にするのに苦労している場面もあり、脳が疲れるほどの濃い授業となったようです。



■清瀬五中生の活躍のご紹介 おめでとうございます！

【R7年度 体育優良生徒】東京都中学校体育連盟
3年生の男女1名ずつ、2名が受賞

【テニス部】令和7年度 第9ブロック研修大会
男子1年団体 第3位

【図書委員会】学校図書館 年間図書貸し出し利用個人ランキング上位

第1位 3年生徒 233冊、 第2位 2年生徒 124冊 第3位 1年生徒 105冊



※家庭配布版では、氏名をご紹介しています。